



言語心理学の基礎 4 メタ言語能力をめぐって

大津 由紀雄 客員教授（慶應義塾大学名誉教授）

2026年12月5日(土)

3限目～4限目 13:00～16:10

関西大学 千里山キャンパス

岩崎記念館 4階 F401

○ 概要

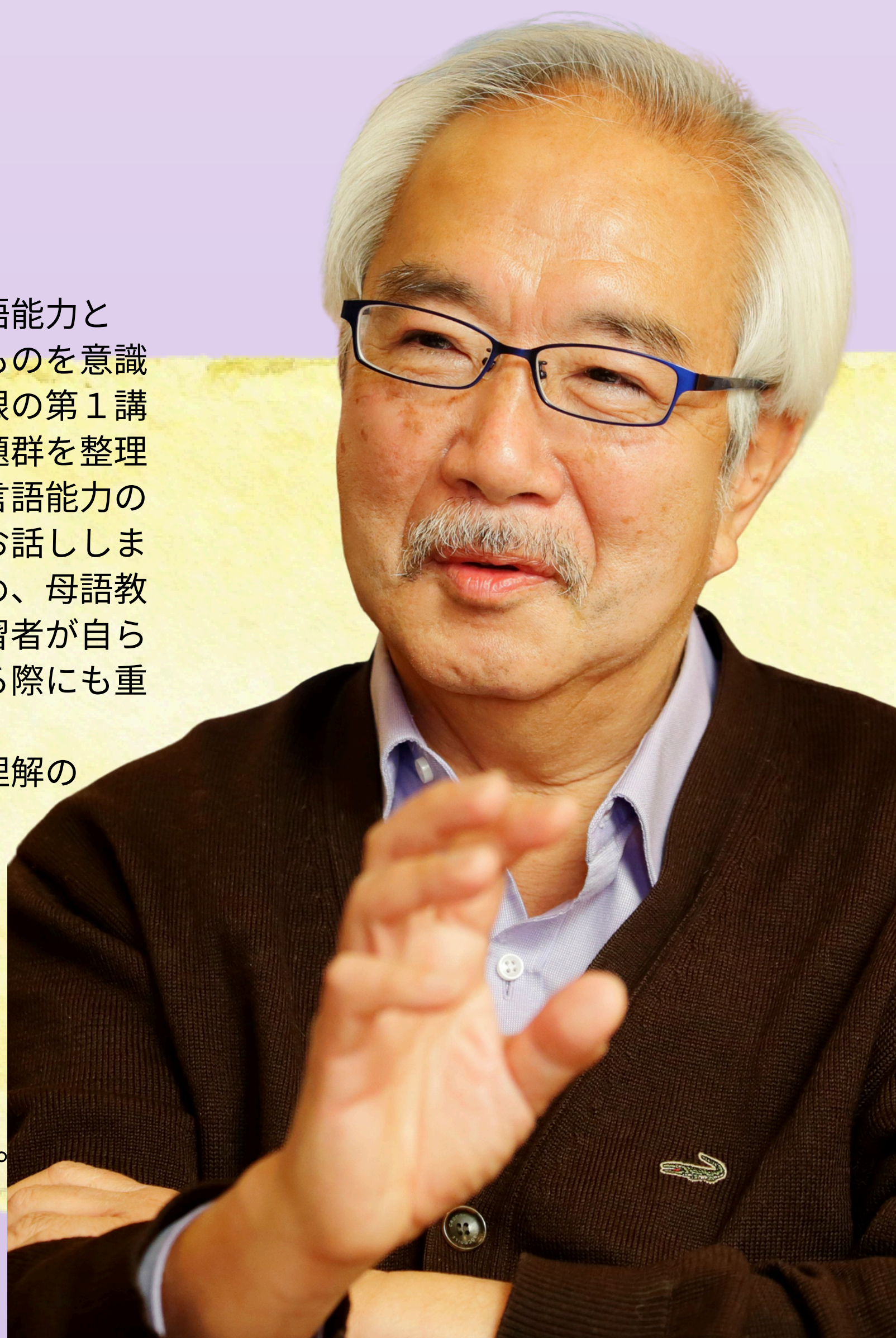
今回は、メタ言語能力について考えます。メタ言語能力とは、ことばを単に用いるだけでなく、ことばそのものを意識的に捉え、分析し、操作する能力のことです。3限の第1講では、メタ言語能力を考えるうえで基礎となる問題群を整理します。それを踏まえ、4限の第2講では、メタ言語能力の発達と母語教育・外国語教育との関わりについてお話しします。メタ言語能力は、読み書き能力の発達をはじめ、母語教育や外国語教育と深く関係しています。また、学習者が自らの言語使用を振り返ったり、誤りを修正したりする際にも重要な役割を果たします。

言語理論や言語心理学に関する基礎知識があれば理解の助けになりますが、本講義ではそれらを前提とはしません。ことばの教育に関心をお持ちの方にとっても、示唆的な内容になると考えています。

○ 略歴

MIT大学院博士課程言語学・哲学研究科 Ph.D.
東京学芸大学教育学部助教授、慶應義塾大学
言語文化研究所教授、明海大学副学長などを歴任。
慶應義塾大学名誉教授

専門分野：言語の認知科学（生成文法）、
ことばの教育



お問合せ：関西大学大学院外国語教育学研究科オフィス
(gaiji@ml.kandai.jp)

JSPS科研費 挑戦的研究（萌芽）24K21365 後援